corega Ether PCC-TL 取扱説明書
（Windows 95 編）

はじめに

本製品のドライバーを Windows 95 にインストールする手順を説明します（ここでは、ネットワークアダプタ用ドライバーを含むネットワーク環境が全くインストールされていない状態でのインストール手順を説明します）。なお、Windows 95 には、Version A、Version B、Version C の 4 種類のバージョンがあります。本製品はどのバージョンでも動作しますが、バージョンによってドライバーのインストール時に表示されるメッセージが若干異なります。本書では、Version B を使用し、手順を説明します。

本書に記載されている内容は以下の通りです。

■ 各部の名称と働き 2

■ 用意するもの 2

■ 設置・接続 3

■ PCMCIA コントローラの有効化 5

■ ドライバーの新規インストール 7

■ インストールの確認 11

■ ドライバーの削除 14

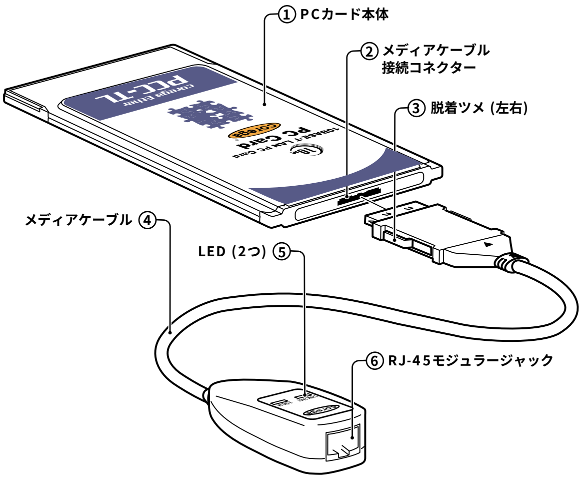
■ ドライバーの再インストール 17

P/N J613-M3540-03 Rev.A 020524

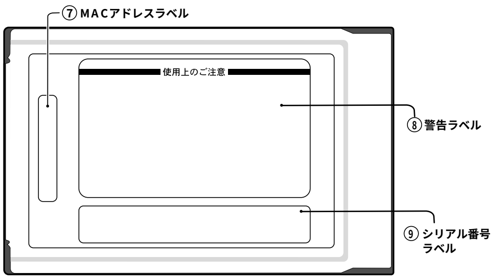
各部の名称と働き

本製品の主要な部分の名称と働きを説明します。

表面



裏面



外観図

① PC カード本体

パソコンの PC カードスロットに挿入し、LAN アダプターの機能を提供します。

② メディアケーブル接続コネクター

「④ メディアケーブル」を接続します。

③ 脱着ツメ

メディアケーブルの脱着を行うためのツメです。必ずこのツメを持ってメディアケーブルの脱着を行ってください。

④ メディアケーブル

PC カード本体と UTP ケーブルを接続するためのケーブルです。

⑤ LED

次の 2 つの LED があります。

LINK （緑）: 対向機器と正常にリンクが確立されると点灯します。
ACT （緑）: データの送受信時に点滅します。

⑥ RJ-45 モジュラージャック

UTP ケーブル（シールドなしツイストペアケーブル）を接続するコネクターです。

⑦ MAC アドレスラベル

本製品の MAC アドレスが記入されています。

⑧警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。必ずお読みください。

⑨シリアル番号ラベル

本製品のシリアル番号（製造番号）とリビジョンが記入されています。同じものが、3 枚同梱されており、パッケージ（外箱）にも貼付されています。同梱されているシリアル番号ツールは、「製品保証書」に貼付してください（残る 2 枚は予備です）。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な情報です。

用意するもの

- 本製品本体、UTP ケーブルなど
- 本製品のドライバーディスク (CD-ROM)
- パソコン（Windows 95 インストール済み）
- Windows 95 の供給メディア（CD-ROM またはフロッピーディスク）

注意 **Windows 95 がパソコン購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されているときは（プリインストール版）、Windows 95 のバックアップ CD-ROM が付属していることをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していないときは、安全のため、必ずフロッピーディスクに Windows 95 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを始めてください。バックアップ手順は、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。**

注意 **以下の手順は一例です。お客様の環境によっては、画面表示や手順が若干異なることがあります。また、本書では AT 互換機 /PC98-NX へのインストールを例にして説明してあります。**

設置・接続

注意 **本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブ等）に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。**

注意 **本製品の内部には、最新の IC 類が使用されています。ご使用中の静電気による故障対策はされていますが、他の機器との接続時などには、特に注意してください。お客様の不注意により生じた静電気等による故障等につきましては、保証の対象外となりますのであらかじめご了承ください。**

注意 **稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により感電する恐れがあります。**

注意 **スタンバイ状態への移行時、復帰状態への移行時に本製品や UTP ケーブルの抜き差しを行わないでください。また、スタンバイ状態からの復帰時、パソコンの機種によっては、本製品が正常に動作しないものがあります。スタンバイ状態への移行、復帰状態への移行につきましては、サポート対象外とさせていただきます。**

1 . 本製品をパソコンの PC カードスロットにしっかりと挿入します。

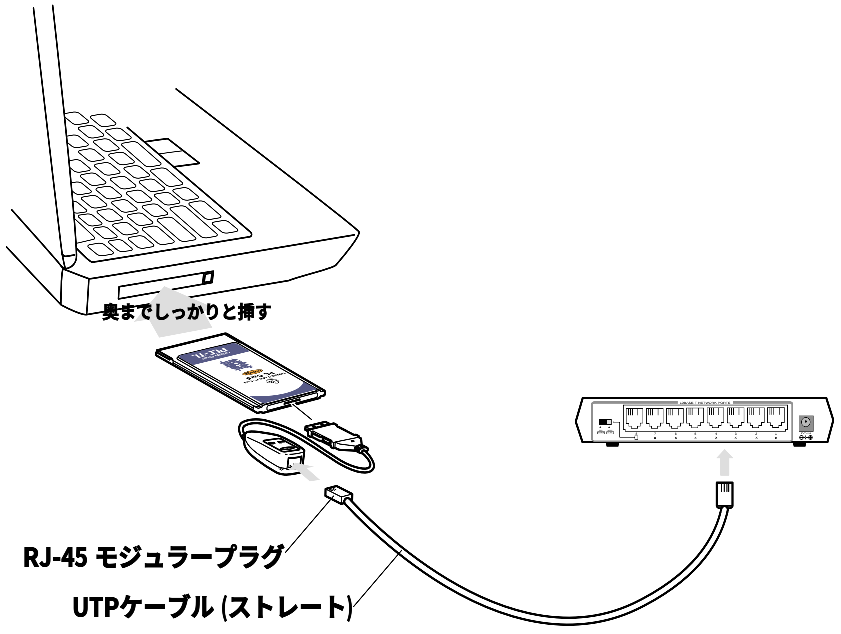
2 .UTP ケーブルの一方の端に付いたプラグを、本製品の RJ-45 モジュラージャックにカチッと音がするまで差し込みます。両端のプラグのどちらを差し込んでもかまいません。

注意 **UTP ケーブル（シールドなしツイストペアケーブル）は、10BASE-T の場合はカテゴリー 3 以上のものをご使用ください。**

3 .UTP ケーブルを引っ張って抜けないことを確認します。

4 .UTP ケーブルのもう一方の端のプラグをハブ（またはスイッチ）のモジュラージャックに差し込みます。手順は上記 (1)(2) と同様です。

注意 **接続した対向機器（ハブまたはスイッチ）との状態が正常であれば、本製品（corega Ether PCC-TL）側は LINK/ACT LED が点灯（緑）します。**



設置・接続の方法

UTP ケーブルの外し方

プラグのツメを指で押えながら手前に引くと、プラグを抜くことができます。

注意 **パソコンの機種によっては、イジェクトバーなどが PC カードの挿入・取り外し操作に干渉することがありますのでご注意ください。**

PC カードの挿入

Windows 95 では、パソコンの電源をオンにしたままカードを挿入することができます。ただし、その場合いくつかの注意点があります。PC カードを挿入する際は、必ず下記の手順にしたがって作業を進めてください。

1 .「corega」のロゴが印刷された面を上にして、本製品をパソコンの PC カードスロットに挿入し、カチッと手応えがあるまで押し込んでください。

警告 **パソコン機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違って装着すると、本製品やご使用のパソコンの故障の原因になります。PC カード装着に関しては、必ずご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。**

2 . 本製品を PC カードスロットに挿入すると、Plug & Play 機能により本製品を自動的に検出します。

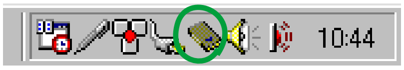
PC カードの取り外し

Windows95 では、パソコンの電源をオンにした状態で本製品を PC カードスロットから取り外すことができます。ただし、パソコンの電源がオンの状態で本製品を取り外すときは、必ず以下の手順で行ってください。

警告 **以下の手順を守らなかったときは、パソコンのハングアップやファイルの破壊を招く恐れがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。**

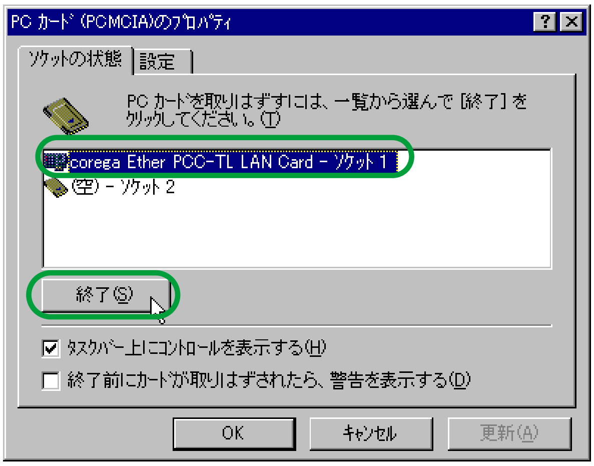
1 . ネットワークと通信を行っているアプリケーション、たとえば Telnet やデータベースアプリケーションなどを全て終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、全て切断してください。

2 . タスクトレーの PC カードアイコン（通常画面右下）をダブルクリックします。



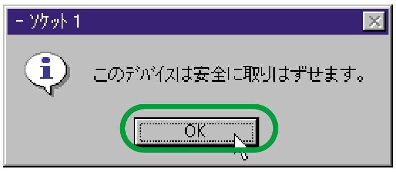
PC カードアイコン

3 .「corega Ether PCC-TL LAN Card」を選択し、「終了」をクリックします。



corega Ether PCC-TL LAN Card 選択

4 .「OK」をクリックします。



取り外し確認

5 . パソコンの PC カード取り外しボタンを押してください。本製品は、PC カードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。

PCMCIA コントローラの有効化

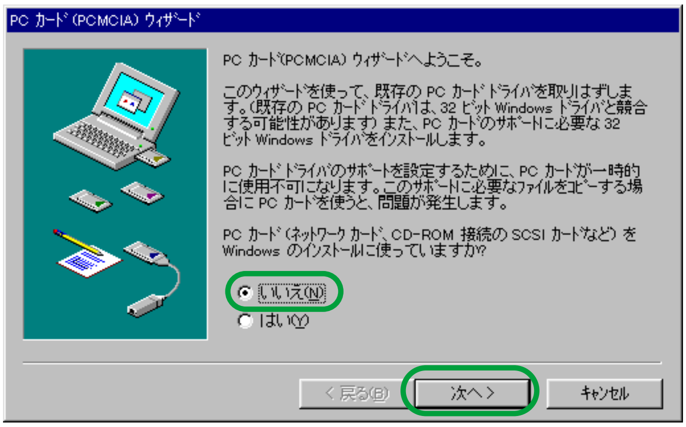
ドライバーをインストールする前に、以下の手順を実行してください。この手続きにより、Windows 95 が PC カードを自動認識するための機能が有効化になります。

> ⚠ 注意
> **この手順は PC カードを初めて使用するときに 1 回だけ実行します。本製品を使用するたびに実行する必要はありません。また、Windows 95 のインストール時に既にこの手順を実行しているときは、実行する必要はありません。**

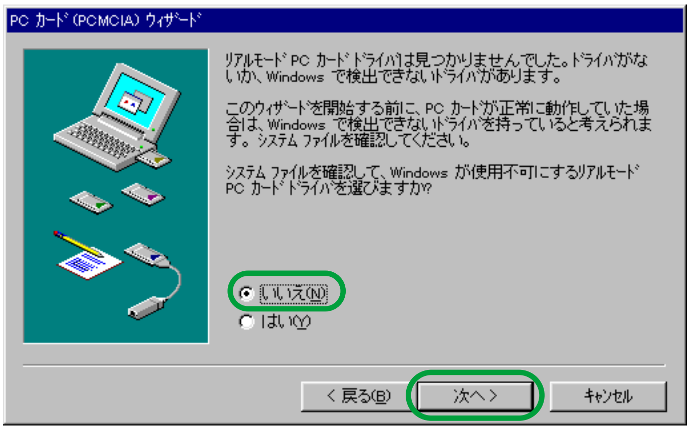
1 . パソコンの電源をオンにし、Windows 95 を起動します。<u>この時点では、まだ本製品を PC カードスロットに取り付けないでください。</u>

2 .「スタート」の「設定」から「コントロールパネル」を選択し、「PC カード（PCMCIA）」アイコンをダブルクリックします。

3 .「PC カード（PCMCIA）ウィザード」が起動します。以下の 2 つの質問に対して「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックします。



PC カードウィザード（1）



PC カードウィザード（2）

次ページへつづく

以前にこの手順を実行したことがあるときは、このウィンドウは表示されず、「PC カード（PCMCIA）のプロパティ」ウィンドウが表示されます（「PC カード（PCMCIA）による確認」を参照）。また、プリインストール版 Windows 95 をご使用のときも同様に、「PC カード（PCMCIA）のプロパティ」ウィンドウが表示されることがあります。このときは「PC カード（PCMCIA）のプロパティ」ウィンドウを閉じてください。

4.「完了」をクリックします。

PC カードウィザードの完了

Windows 3.1 から Windows 95 にアップグレードしたパソコンでは、この作業によって CONFIG.SYS に記述された既存の 16 ビットカードサービス、ソケットサービスがコメントアウトされます。

5.「はい」をクリックします。Windows 95 が終了したら、パソコンの電源をオフにしてください。

「システム設定の変更」ダイアログ

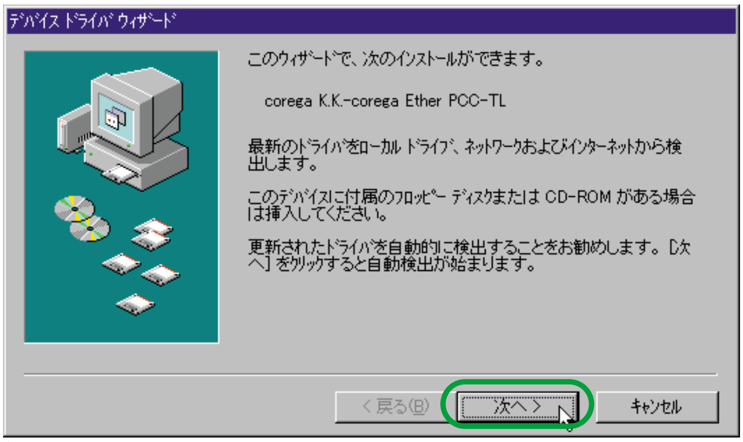
6.以上で PC カードを使用する準備が終了しました。引き続き、「ドライバーの新規インストール」へお進みください。

ドライバーの新規インストール

1．パソコンの電源をオンにし、PC カードスロットに本製品を挿入してください（3 ページの「設置・接続の方法」を参照)。

2．Windows 95 によって本製品が自動的に検出されます。

「デバイスドライバウィザード」が起動します。「corega Ether PCC-TL」の名前が表示されていることを確認し、本製品のドライバーディスクを CD-ROM ドライブに挿入して「次へ」をクリックします。この時点でドライバーディスクを CD-ROM ドライブに入れておくことが重要です。



デバイスドライバウィザード

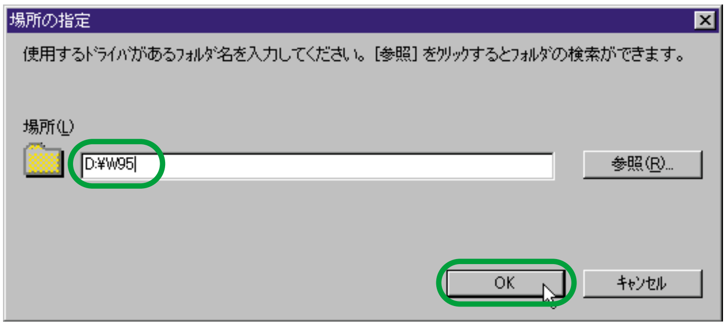
⚠ 注意 **「マイコンピュータ」をダブルクリックし、ご使用のパソコンの CD-ROM ドライブを確認してください。ここでは、CD-ROM ドライブを「D:」と仮定しています。**

3．次の画面が表示されたら「場所の指定」をクリックしてください。

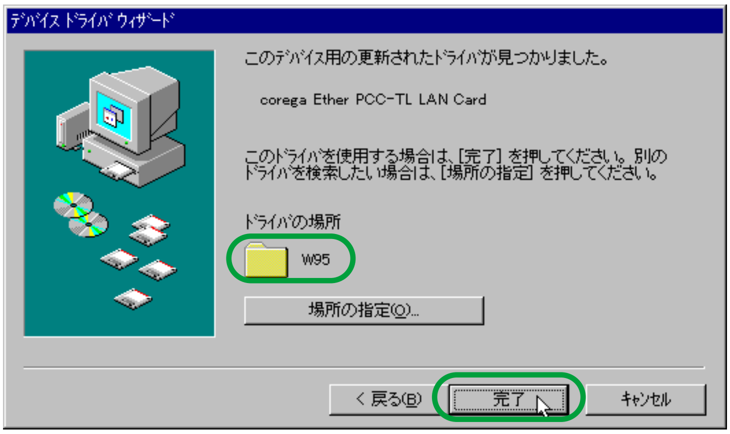
ドライバー格納場所の指定

次ページへつづく

4 .「D:\W95」と入力し、「OK」をクリックしてください。ここでは、CD-ROM ドライブを「D:\」と仮定します。

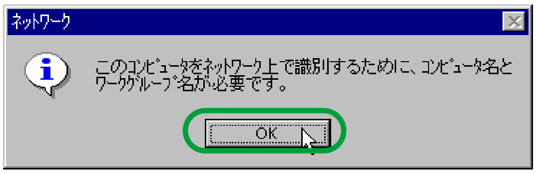


5 .「ドライバの場所」に「W95」フォルダのアイコンが表示されます。「完了」をクリックしてください。



ドライバーの確認

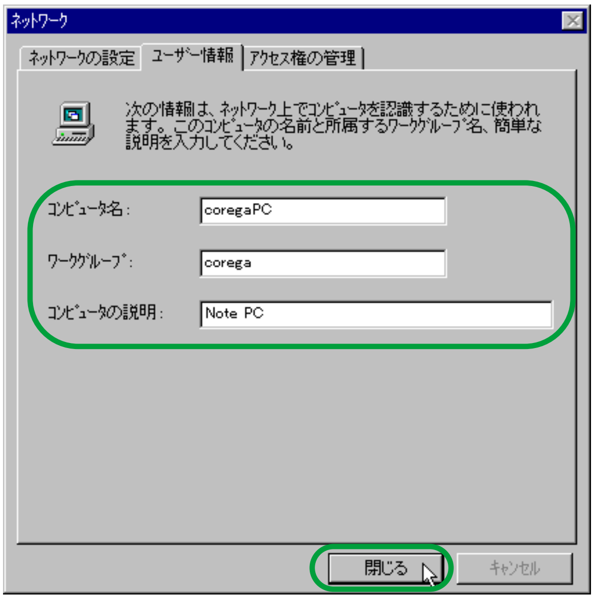
6 .今回初めてネットワークアダプターをインストールするときは、次の画面が表示されます。「OK」をクリックしてください。この画面が表示されないときは、手順 8 に進んでください。



コンピュータ名とワークグループ名の入力確認

次ページへつづく

7．ネットワーク管理者に確認の上、コンピュータ名、ワークグループ名、およびコンピュータの説明（省略可）を入力し（図は設定例です)、「閉じる」をクリックします。



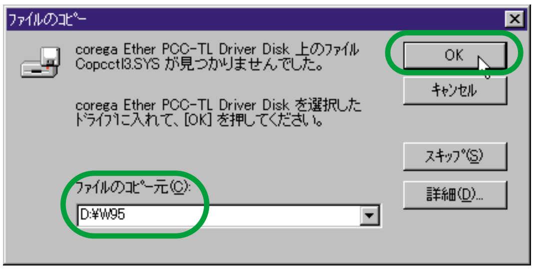
コンピュータ名、ワークグループの入力

コンピュータ名とワークグループ名は、半角英数文字 15 文字以内で入力します。詳細は Windows 95 の取扱説明書およびオンラインヘルプを参照してください。これらの情報をドライバーのインストール後に変更するときは、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を選択し、「ユーザー情報」タブで設定します。

8．必要なファイルがハードディスクにコピーされます。コピーの途中で本製品のドライバーディスクが要求された場合は、「OK」をクリックしてください。

ドライバーディスクの要求

9．「Codpcctl3.sys が見つからないのでドライバーディスクを入れてください」という画面が表示されたときは、本製品のドライバーディスクを CD-ROM ドライブに入れ、「ファイルのコピー元」に「D:\W95」と入力して「OK」をクリックしてください。「Codpcctl3.sys」は本製品のドライバーディスクに収められているファイルです。ここでは CD-ROM ドライブを「D:」と仮定します。



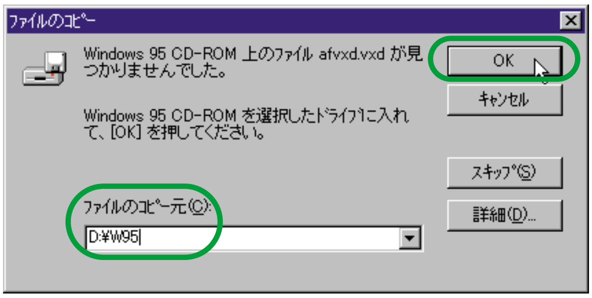
ディレクトリの指定

10.Windows 95 の供給ディスクを要求された場合は、「OK」をクリックしてください。

Windows 95 供給ディスクの要求

次ページへつづく

11. 次のような画面が表示されたときは、以下で説明する Windows 95 のメディア形態に応じて下記のように「ファイルのコピー元」にパスを入力して「OK」をクリックしてください。画面の例は CD-ROM 版の例です。また、見つからないファイル名（ここでは「afvxd.vxd」ファイルが見つからない場合の例）は異なる場合があります。



Windows ファイルのディレクトリの指定

■プリインストール版 Windows 95 の場合

プリインストール版の場合は Windows 95 のファイルが既にハードディスクにコピーされています。画面ではディスクを入れるよう要求されますが、そのまま「OK」をクリックして画面を閉じて、上記入力例の「ファイルコピー元」に以下のとおり指定してください。ここでは Windows 95 の起動ディスクドライブを「C:」と仮定します。

コピー元：C:\windows\options\cabs

■Windows 95 が CD-ROM で提供されている場合

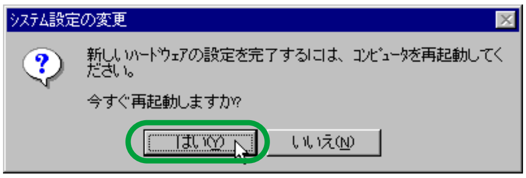
CD-ROM をドライブに挿入し、上記入力例の「ファイルコピー元」に以下のとおり指定してください。ここでは CD-ROM ドライブを「D:」と仮定します。

コピー元：D:\WIN95

■Windows 95 がフロッピーディスクで提供されている場合

現在挿入されているドライバーディスクを取り出し、指示された番号のフロッピーディスクをドライブに入れ、「ファイルのコピー元」に「A:\」と入力してください。ここではフロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。

12. 手順 11 で Windows 95 の供給ディスクを挿入した場合は、そのディスクを CD-ROM ドライブまたはフロッピーディスクドライブから取り出してから、「はい」をクリックしてパソコンを再起動します。ご使用のパソコンの環境によっては、以下のウィンドウが表示されない場合もあります。その場合でも、必ず再起動を行ってください。



システム設定の変更

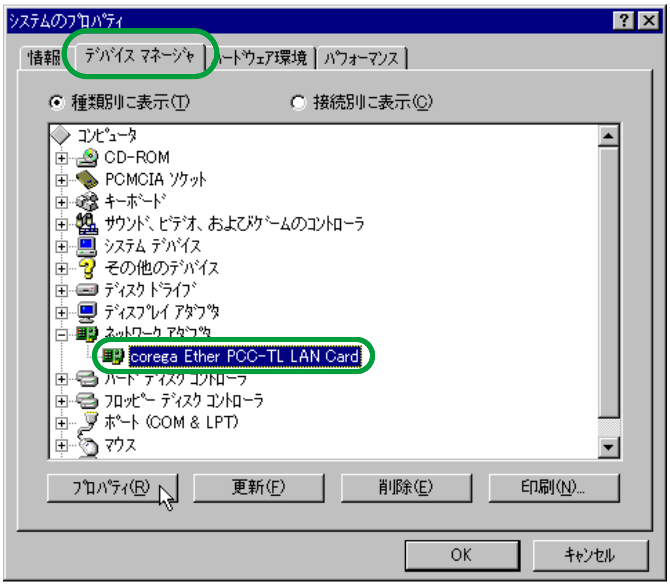
13. 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「 インストールの確認」にお進みください。

インストールの確認

再起動したら、ドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。確認方法には、デバイスマネージャおよびＰＣカード（PCMCIA）による２とおりの方法があります。

デバイスマネージャによるインストールの確認

1.「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。「corega Ether PCC-TL LAN Card」を選択（反転表示）し、「プロパティ」をクリックします。



システムのプロパティ

注意

本製品のアイコンに「×」「？」「！」などのマークが付いていたり、アイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にあるときはインストールに失敗しています。詳しくは、PDF 形式のファイル「追加情報とトラブルシューティング」の「ドライバーのトラブルシューティング」をご覧ください。

2.「情報」をクリックします。「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。

デバイスの状態

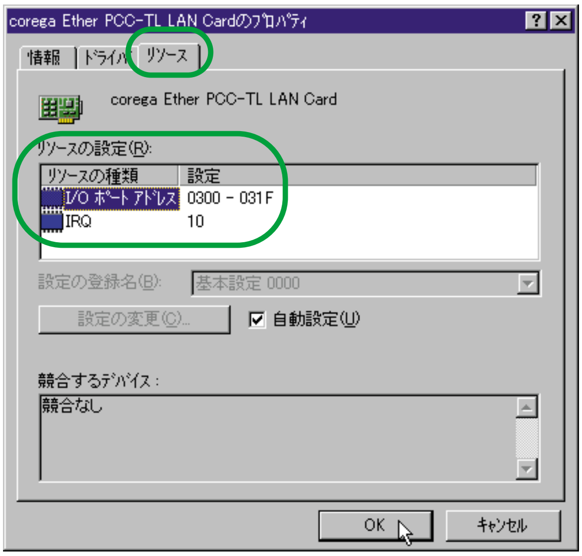
次ページへつづく

注意

「ドライバ」タブが存在します。「ドライバ」タブを選択すると、「このデバイスにはドライバファイルが必要でないか、または組み込まれていません。」というメッセージが表示されることがありますが、これは本製品の仕様によるものであり、本製品のご使用には支障ありません。安心してご使用ください。

「ドライバ」タブ

3 . 本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト（IRQ）などは、Windows 95 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。

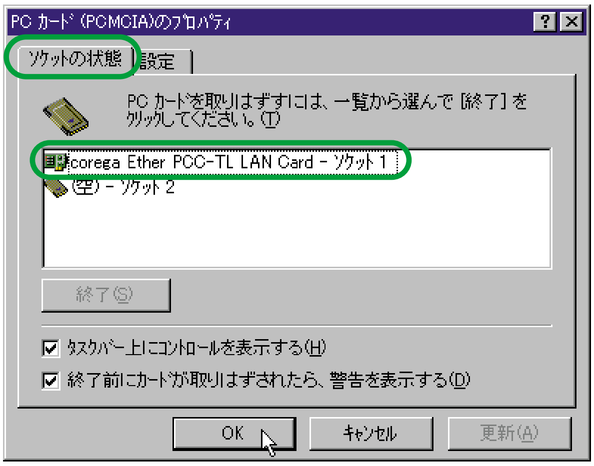


リソースの確認

次ページへつづく

PC カード（PCMCIA）による確認

「コントロールパネル」の「PC カード（PCMCIA）」をダブルクリックします。「ソケットの状態」タブを選択し、該当するソケットに「corega Ether PCC-TL LAN Card」が表示されていることを確認します。



ソケットの状態

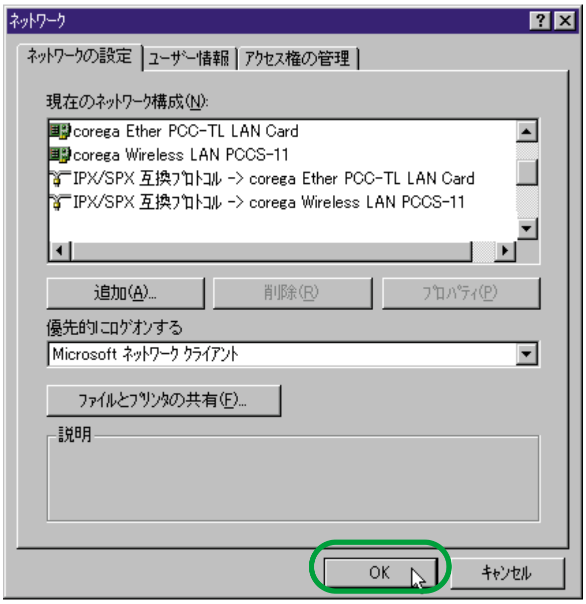
注意 **ソケットの数はご使用のパソコンの機種によって異なります。**

ネットワークの設定

ドライバーが正常にインストールされているか確認後、ネットワークの設定などを行います。

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。詳細はシステム管理者にご確認ください。また、基本的な設定例を PDF 形式のファイルでご用意しています。本製品のドライバーディスク内の「index.html」をダブルクリックして表示される「corega 製品を使用したLAN の構成」の Windows Me の設定例を参考にしてください。

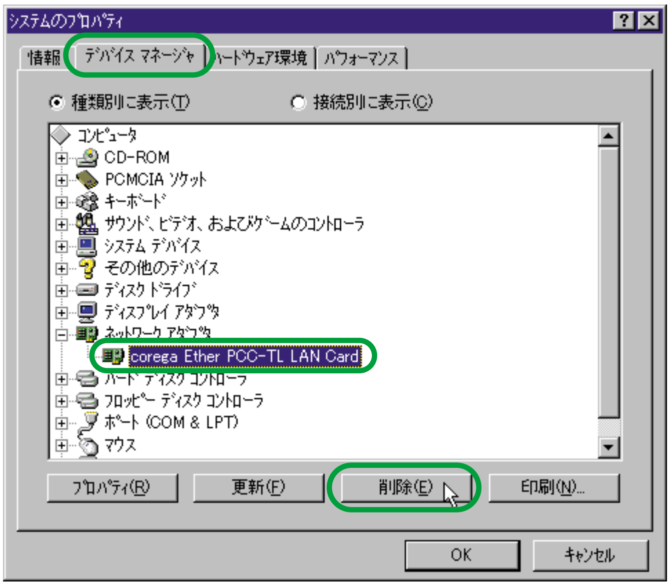
必要な設定を終えたら、「ネットワーク」ウィンドウの「OK」をクリックします。再起動の確認画面が表示されます。設定内容は、再起動後から有効となります。



ネットワーク

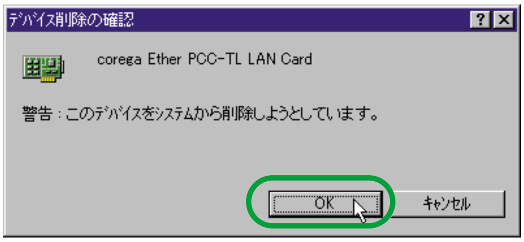
ドライバーの削除

1.「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックします。「デバイスマネージャ」タブを選択し、「ネットワークアダプタ」アイコンをダブルクリックします。「corega Ether PCC-TL LAN Card」を選択し、「削除」をクリックします。



ドライバーの削除

2.「OK」をクリックします。

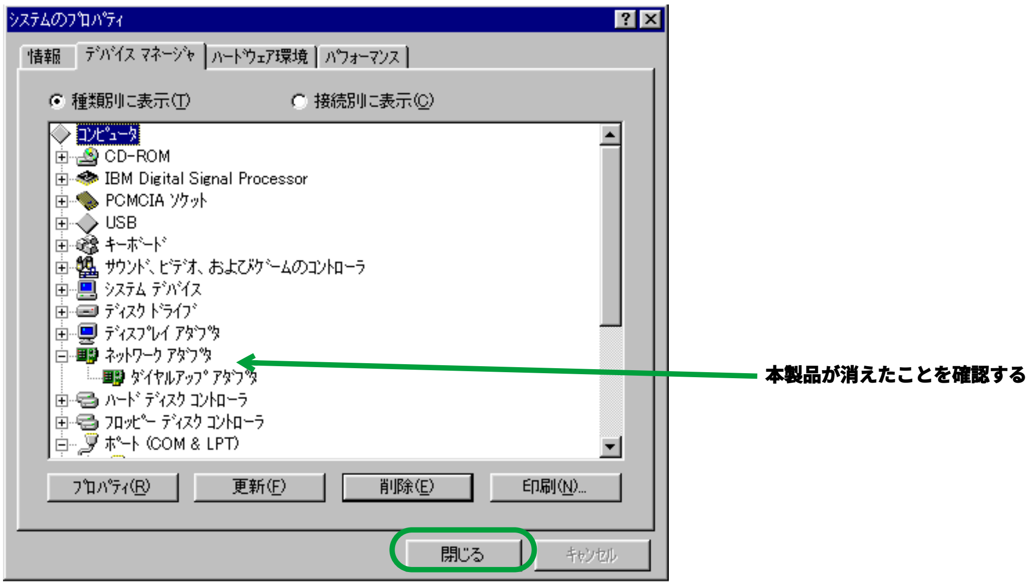


デバイス削除の確認

注意

上の画面で選択肢が表示されたときは、「すべての設定から削除」を選択して「OK」をクリックしてください。また、Windows 95 の CD-ROM が要求された場合は、「ドライバーの新規インストール」の手順 9 ～ 10 と同様にファイルの場所を指定してください。

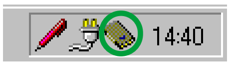
3.本製品のアイコンが消えていることを確認し、「閉じる」をクリックします。



削除後のデバイスマネージャ

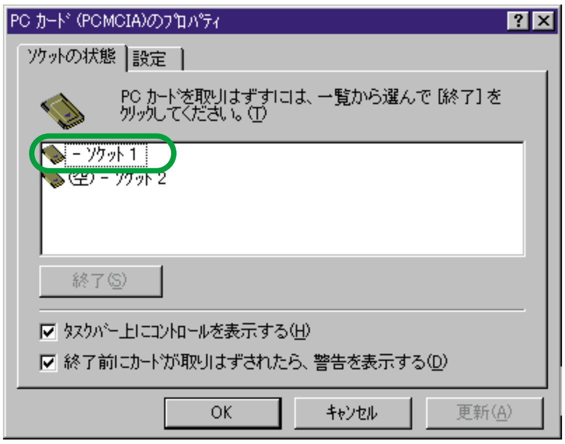
次ページへつづく

4 . タスクトレー（通常画面右下）の PC カードアイコンをダブルクリックします。



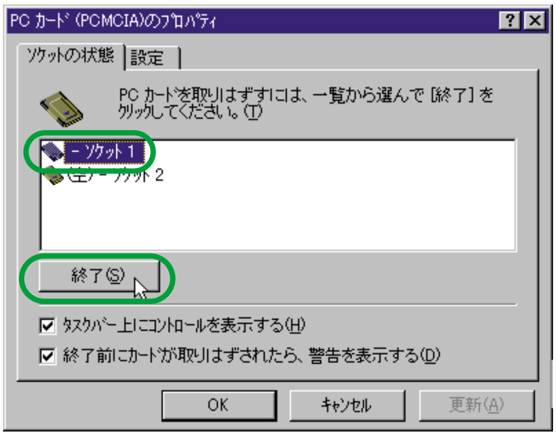
PC カードアイコン

「ソケットの状態」タブが表示されます。本製品が挿入されていたソケットの表記が「-」となっていることを確認してください。



デバイス削除後の「ソケットの状態」

5 . 該当するソケット（画面では「- ソケット 1」）を選択（反転表示）させると「終了」ボタンがアクティブになります。「終了」ボタンをクリックします。



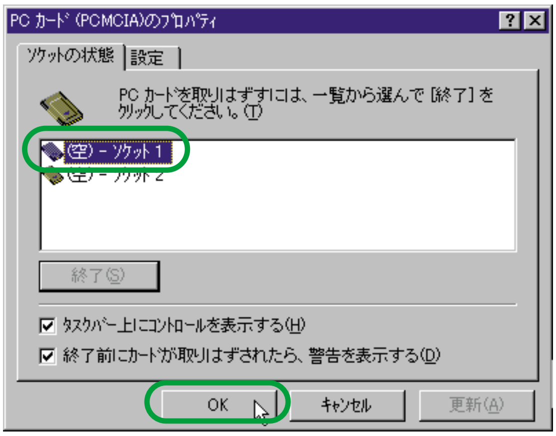
デバイス削除後の「ソケットの状態」(2)

6 .「OK」をクリックします。

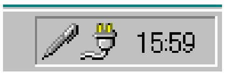
7 .PC カードスロットから本製品を抜きます。

次ページへつづく

8．「ソケットの状態」で「空」と表記されていることを確認して「OK」をクリックします。



9．タスクトレーから PC カードアイコンが消えていることもご確認ください。



タスクトレー

10．以上でドライバーの削除は終了です。パソコンの電源をオフにしてください。

ドライバーの再インストール

ドライバーの再インストールを行うときは、ドライバーをいったん削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗したときも、インストールされたドライバーを削除してから再インストール作業を行います。

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

1 .14 ページの「ドライバーの削除」の手順にしたがい、本製品のドライバーを削除します。

2 .7 ページの「ドライバーの新規インストール」の手順にしたがい、本製品のドライバーをインストールをします。

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2002 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2002 年 5 月　Rev.A　初版